

国際文化研究科 国際文化専攻のアドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

博士前期課程	博士後期課程
<p>日本文化を含む国際文化への深い関心と強い探究心を持ち、修得した専門知識を国際社会及び地域社会に還元する堅固な意志を有する人。</p> <p>日本文化を含む国際文化研究に必要な知識と外国語能力を備え、高度な論理的思考をもって学習・研究できる人。</p>	<p>博士前期課程ないし修士課程で獲得した国際文化に関する専門知識と研究能力をさらに発展させる気概を持ち、課程内での博士学位取得に対し確固たる意志を有する人。</p> <p>研究者として自立しうる専門的能力をそなえ、課程内で得た研究成果を広く国際社会と地域社会に対して還元できる人。</p>

2. 入学者選抜の基本方針：「求める学生像」に基づき、各選抜試験を行います

				博士前期課程	博士後期課程
選抜試験種別	一般学生・社会人学生・外国人留学生共通	A型	評価する能力	国際文化研究を行うことのできる十分な語学力があるかどうか、専門分野についての十分な知識や論理的思考能力、問題発見力があるかどうかを評価する。	研究者として国際文化研究を行うことのできる十分な語学力があるかどうか、研究者として専門分野についての十分な知識や論理的思考能力、問題発見力、独創性があるかどうかを評価する。
		B型	評価する能力	国際文化研究を行うことのできる十分な語学力があるかどうか、専門分野についての十分な知識や論理的思考能力、問題発見力、プレゼンテーション力があるかどうかを評価する。	
		評価方法・比重			A型:外国語、専門科目、口述試験 ※外国語と専門科目の比重は1:1とする。 B型:外国語、プレゼンテーション ※外国語とプレゼンテーションの比重は1:2とする。 学内推薦者:口述試験のみ